

## 生体弁による大動脈弁置換術後の術後一年後の左室心筋重量係数を予測する因子の検討

当院倫理審査委員会の承認日：令和 4 年 9 月 14 日

### （調査の意義、目的）

大動脈弁狭窄症に対する治療介入は、近年増加傾向です。左室心筋重量係数は左室肥大の指標となるパラメーターですが、近年、術後の左室心筋重量係数の減少が予後に大きく関連することが報告されています。当院における大動脈弁置換術後の患者様の術後一年後の左室心筋重量係数を心エコーデータから計測し、一年後に左室肥大が残存する術前のリスク因子を検討するとともに、左室肥大が残存する群と正常化する群の心エコーのパラメーターを術前と一年後で比較し、左室肥大改善のパターンの違いを比較します。さらに一年後に左室肥大が残存するリスク因子と大動脈弁置換術後の生命予後の関連を調査します。現行の大動脈弁狭窄症に対する外科的手術介入のガイドラインは、左室心筋重量係数の減少には触れられておりませんが、当研究で左室心筋重量係数の推移と大動脈弁置換術後の予後の関連を明らかにし、大動脈弁置換術後の成績をより良くできる可能性のある治療ストラテジーを再考するのが当研究の目的です。

### （調査の方法）

当院にて既に生体弁による大動脈弁置換術を受けられた患者さまの経過を、カルテ等をもとに調査します。

### （調査の対象となる方）

2008 年 1 月から 2021 年 6 月まで、当院で生体弁による大動脈弁置換術を受けられた患者さま。

### （本研究の調査実施期間）

倫理委員会承認後から 2024 年 3 月 31 日まで

### （個人情報の取り扱いについて）

調査実施に際しては、対象の患者さまの秘密保護に十分配慮します。情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。調査結果が公表される場合でも個人が特定されることはありません。この調査で取得した情報は、京都第一赤十字病院心臓血管外科において同科部長 高橋章之の責任の下厳重な管理を行います。上記の調査への登録を希望されない場合には、担当医または下記まで

ご連絡ください。なおこの調査は、当院の倫理審査委員会で承認されております。

(お問い合わせ先)

京都第一赤十字病院 心臓血管外科 部長 高橋 章之

電話 075-561-1121